久留米工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語2
科目基礎情報					
科目番号	2M08		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	材料システム工学科(2017年度以降入学生、但し、令和4年度は材料工学科を含む)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	前期:4 後期:4	
教科書/教材	教科書: Revised POLESTAR English Communication II (数研出版) / 副教材: 英単語・熟語コーパス 3000 (東京書籍)				
担当教員	徳永 正尚				
到達目標					
<p>1. 英文の構造を正確に理解する力と、語彙を増やし、やや高度な英文を講読する力を養うとともに、基本的な英語で、自ら表現できるようになる。</p> <p>2. 1年時に学習した英文法の基礎を確認し、さらに高度な文法を理解する。</p> <p>3. 幅広い分野の文章を読み、理解し、考察することによって、コミュニケーションに不可欠な思考力や洞察力を発展させる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
言語・文化の知識・理解	2年次までに学習した言語知識(文法・語法等)や文化を十分に理解している。		2年次までに学習した言語知識(文法・語法等)や文化を概ね理解している。		2年次までに学習した基礎的な言語知識(文法・語法等)や文化をあまり理解していない。
理解	教科書のレベルの文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを十分理解できる。		教科書のレベルの文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを概ね理解できる。		教科書のレベルの文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどをあまり理解できない。
表現	2年次までに学習した言語知識を使用して、適切な英語で十分に表現することができる。		2年次までに学習した言語知識を使用して、適切な英語で概ね表現することができる。		2年次までに学習した言語知識を使用することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	中学校での英語の学習内容を基礎にして新しい言語知識を身につけ、英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの言語活動、およびそれらの統合的な言語活動を行い、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。また異文化を理解し、多角的視点を養う。				
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って授業ノートや授業プリント、その他のワークシート等を用いて行う。レッスンの内容に応じて、言語活動を個人や協同(ペア・グループ)で行う。適宜、小テスト(単語テストを含む)や課題を課す。計画進度は各レッスンの目的や活動の状況等に応じて変わることがある。				
注意点	<p>(1) 成績配分: 中間考査・期末考査70%、平常点30%(a小テスト、b課題、c英語学習・コミュニケーションへの関心・意欲・態度)で最終成績は総合的に判断する。定期考査は原則として①「言語・文化の知識・理解」、②「情報や考えの理解」、③「表現」の三観点から英語の能力を測る。</p> <p>(2) 評価基準: 60点以上を合格とする。</p> <p>(3) 再試験: 原則として行わない。ただし、平常点(b,c)に特に問題がない場合、個別の状況に応じて行うことがある。</p> <p>(4) 授業には大学ノート(または4線ノート)、英和辞書(電子辞書可)を持参すること。プリント保存用の紙ファイルも用意すること。</p> <p>(5) 予習は指示されたやり方で、前時までに言われた範囲を必ずやっておくこと。</p>				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☒ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業内容を把握し、学習計画を立てる	
		2週	Lesson 1: Japan Through Foreign Eyes	完了不定詞、to-不定詞の受動態、助動詞+have+過去分詞	
		3週	Lesson 1: Japan Through Foreign Eyes	完了不定詞、to-不定詞の受動態、助動詞+have+過去分詞	
		4週	Lesson 1: Japan Through Foreign Eyes	完了不定詞、to-不定詞の受動態、助動詞+have+過去分詞	
		5週	Lesson 2: Universal Design—Making Everyone Safer and Happier	前置詞と関係代名詞、形式目的語 it	
		6週	Lesson 2: Universal Design—Making Everyone Safer and Happier	前置詞と関係代名詞、形式目的語 it	
		7週	Lesson 2: Universal Design—Making Everyone Safer and Happier	前置詞と関係代名詞、形式目的語 it	
		8週	前期中間試験	既習事項の定着度を測る。	
	2ndQ	9週	Lesson 3: Table for Two—Helping Others as You Eat	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
		10週	Lesson 3: Table for Two—Helping Others as You Eat	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
		11週	Lesson 3: Table for Two—Helping Others as You Eat	関係代名詞の継続用法、関係副詞の継続用法、進行形の受動態 (be+being+過去分詞)	
		12週	Lesson 4: The Story of the Ertugrul	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	
		13週	Lesson 4: The Story of the Ertugrul	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	
		14週	Lesson 4: The Story of the Ertugrul	完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形	

		15週	成績確認と復習	これまでの学習内容の復習
		16週		
後期	3rdQ	1週	Lesson 5: Let's Stop Saying "That's Impossible"	句や節を受けるwhich, be+to-不定詞
		2週	Lesson 5: Let's Stop Saying "That's Impossible"	句や節を受けるwhich, be+to-不定詞
		3週	Lesson 6: The Miracle of Curitiba	複合関係詞、S+V (使役動詞) +O+C (過去分詞)
		4週	Lesson 6: The Miracle of Curitiba	複合関係詞、S+V (使役動詞) +O+C (過去分詞)
		5週	Lesson 7: Rakugo in English	so/neither+(助)動詞+主語, as if
		6週	Lesson 7: Rakugo in English	so/neither+(助)動詞+主語, as if
		7週	後期中間試験	既習事項の定着度を測る。
		8週	Lesson 8: Nelson Mandela and the Springboks	関係代名詞の継続用法 (〜+of which) 、仮定法現在、結果を表すto-不定詞
	4thQ	9週	Lesson 8: Nelson Mandela and the Springboks	関係代名詞の継続用法 (〜+of which) 、仮定法現在、結果を表すto-不定詞
		10週	Lesson 9: The Most Advanced Water—"NEWater"	過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法
		11週	Lesson 9: The Most Advanced Water—"NEWater"	過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法
		12週	Lesson 10: Less Is More	主語の省略、付帯状況のwith、関係詞節中に他の節を含む場合
		13週	Lesson 10: Less Is More	主語の省略、付帯状況のwith、関係詞節中に他の節を含む場合
		14週	Lesson 10: Less Is More	主語の省略、付帯状況のwith、関係詞節中に他の節を含む場合
		15週	成績確認と復習	これまでの学習内容の復習
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前2,後7	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	前3,後8	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	前4,後9	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	前5,後10	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前6,後11	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前7,後12	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	後13,後14	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	後4,後14	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前2,前8,後14	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前3,前9,後14	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	前4,前10	
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	前5,前11
					英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	前6,前12
					英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	前7,前13
					母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	前8,前14
					関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	前9,前15
					関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	前10,前16
					関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	前12,後1
					英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	前13,後1,後2
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	前14,後3	

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	前15,後4
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	後2,後5
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	後3,後6
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	後4,後7

評価割合

	定期試験	平常点	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	0	70
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	30	30